

## 江東区CIGビジョン（緑の中の都市）活動報告

昨年6月からベランダ緑化の推進をテーマにモニター募集をしました。区内3カ所（合計90人）のモニターの方々にプランター、土、花苗を配布し育てて頂き、中間報告会を12月に開催しました。

皆さんがベランダでの花苗の生育を楽しみ、かつ責任を持って育てていることが中間報告会で発表されました。写真、ブログ等、皆さんのがベランダガーデンの活動を日常に取り入れつつあるようにおもいます。（築地地 迪江）



### イベント予告！

3/16(土)、17(日) 旧中川・川の駅オープン!!  
10:00~16:00 「にぎわいイベント」開催!!  
場所：旧中川・川の駅（中川船番所資料館前）…東大島駅より徒歩6分

来る3月16日 いよいよ江東区東大島の旧中川に水陸両用バス用スロープとにぎわい施設を併設した「旧中川・川の駅」がオープン!!水陸両用バスが豪快に水しぶきを上げて入水する姿を間近に見られるテラス、そして足湯や売店など…。水彩都市・江東らしい新しい水辺空間の誕生です！当会では区と協働してオープニングを盛り上げる「にぎわいイベント」の企画・運営を行い、地域連携と賑わいの創出を念頭に様々な活動を行います。当日は、各種模擬店やパフォーマンス、体験乗船、イベントなど様々な催しで水辺の賑わいづくりに力を注ぎます。

3/30(土)～4/21(日) 第9回 「お江戸深川さくらまつり」

場所：門前仲町・大横川（黒船橋・石島橋）界隈

今年で9回目を迎える「お江戸深川さくらまつり」が、来る3月30日から開催されます！深川に春の到来を告げるイベントとして遠方から多くの参加者で賑わう「さくらまつり」。和船乗船や模擬店、パフォーマンス、餅つき大会、ライトアップなど様々な催しで深川のお花見を盛り上げます！また日本橋と深川を結ぶ河川航路も運航され「お江戸深川」を水上からもお楽しみいただけます！当会も模擬店、遊覧船運航、餅つき、案内などイベント全般に協力いたします。

9/28(土) 第14回「水彩フェスティバル」

求ム!!

※上記イベント実施あたり当会でも多くの人手が必要となり、日頃から会員の皆様には運営スタッフ等ご協力をお願いしておりますが、まだまた人手が不足しております。イベント当日や事前準備などお手伝い可能な方はぜひご参加頂けます様、お願ひいたします。可能な方は事務局までご一報ください。  
私たちと一緒に江東区の水辺を盛り上げていきましょう!!



◆年頭に思うこと◆

水陸両用バス「スカイダック」

平 成25年を迎え、平成時代も四半世紀が経過しました。時の経つのは早いものです。我々の活動も平成12年に開始し、もう13年が経過しようといいます。西暦で言うと2000年、21世紀を迎えた年でした。

水辺から住みよいまちづくりをしたい、水辺で楽しく遊びたい、私たちの誇れる水辺をアピールしたいなど、水辺への強い思いを持つ4人が集まって結成し、今では116名（平成24年11月）のメンバーが集まっています。

当時はまだ活動の方向性も定まらないといった状態でした。まずは親しむという視点でイベントを開催したのが水彩フェスティバルです。今年14回目を迎えます。また、水辺を知ろうと地域の古の方に昔の水辺の様子をお聞かせいただいたり、区役所の方をお招きして今後水辺はどう変わっていくのか将来像をお聞きするということも始めました。これが水彩サロンでした。

水はどんなところにも流れ、広がっていきます。深川観光協会と共に開催するお江戸深川さくらまつり、東京海洋大学と共に開催する明治丸シンボジウム、東大島文化センターの支援を得て活動するリバーガイドの活動など、当初の活動がいろいろな所で活かされ展開していくことになりました。地域の方々や行政、大学といった多くの方々の協力を得て協働してきたことで、人のネットワークも広がりました。

水辺の活動のエリアは今後も広がる可能性があります。今年度特筆すべきことは江東区からの委託事業「2012 CIGビジョン推進キャンペーン—ベランダ緑化」を受注したことです。平成16年に水辺に親しむ会が行った内閣府からの委託調査「防災対策を考慮した水と緑のネットワーク再生事業」がここにつながりました。景観としての水辺の緑が、



小名木川リバーツアー

地域の緑につながり、City In The Greenのテーマに水辺の活動が沿うことになったと考えています。

昔、隅田川の流れはテムズに通ず、と言った人がいたそうです。水には行政のテリトリーも国境を超えるダイナミックさがあります。我々水辺の会も、様々な事柄を狭い視点でとらえることなく、皆で協働した自由で伸び伸びとした、だからこそ配慮のある活動を続けていきたいと考えています。

# 2012年の記録

record in 2012

昨年も皆様のご協力で多くの事業を行うことができました。ありがとうございました。  
今年も様々なイベントを企画しておりますのでご参加、ご協力よろしくお願ひいたします。



Spring. Summer



上「お江戸深川さくらまつり」(写真：庄司) 右上「明治丸シンポジウム」(写真：飯田) 右下「水彩サロン」

春, 夏



## 3~4月 第8回 「お江戸深川さくらまつり」

3月～4月当水辺に親しむ会の企画で始められたこのイベントも8回を迎え、周遊船の運航、火の見櫓下のお餅搗きと販売、石島橋でのコーヒー販売で協力しました。

東京海洋大学海王祭実行委員会の射的、明治学院大学服部研究室のソーセージ販売などもあり、ますます盛り上がっています。ただ桜の開花時期はやや遅めでした。(庄司邦昭)



## 6月 「総会」

通常総会は6月2日（土）に白河1丁目住宅1階の集会室で開催されました。総会前に、監事の坂口清実さんと理事の森本さんより30分ずつ講演をいただきました。総会は、23年度の事業報告、決算と24年度の事業計画、予算が承認されました。また総会後は、懇親会を行いました。(藤井達生)

## 7月 第11回 「明治丸シンポジウム」

第11回 明治丸シンポジウムは例年の如く、当水辺に親しむ会の共催の元、海の日7月16日に越中島の東京海洋大学キャンパスにて行われた。

「明治丸と地域防災」をテーマとしてパネルディスカッションが、当会の庄司海洋大学名誉教授と飯田マシソン管理士、角田深川消防署長、佐藤江東区副区長等により行われた。又須永理事長が司会を務め、その他当会のメンバーの多くがシンポジウムの運営に携わった。

さかなクンの欠席も影響してか、例年よりも出席者は183名と少なかったが、防災の重要性を再認識する内容との評価が多かった。(勝見好文)

## 春秋 「水彩サロン」

水辺に関わる話題やまちづくりなどの幅広いテーマで、春学期と秋学期を開催しています。ちょっと行けない海外の話や専門家からの意外な話など、いつも新しい発見があります。講師による話題提供の後、お茶を飲みながら意見交換を行う和やかサロンです。

時には船に乘ったり、まち歩きの見学会もしています。(桑原学子)

Autumn. Winter



「水彩フェスティバル」(写真：坂口)

秋, 冬



「江東シネマフェスティバル」(写真：須永)

## 9月 第13回 「水彩フェスティバル」

この事業は、江東区が目指す「水彩都市江東」を、内外にアピールするために、親水河川のシンボルでもある小名木川クローバー橋、横十間川水門橋及び付近の立地を生かし、当水辺に親しむ会の主要事業の一つとして開催し、地域住民の好評の中で第13回を迎える一途を辿っている。親水公園の舞台装置を効果的に活用している。

今回も、例年の如く「水彩都市アピール実行委員会」を構成し、平成24年9月29日（土）に開催されたが、主な行事内容は、舟運、カヌー、和船乗船体験、模擬店、舞蹈、ステージ、キャンドルN i g h t，等が実施された。何れも参加団体の知恵と工夫により盛況のうちに展開され、最後のキャンドルN i g h tを以て労をねぎらった。(坂口清実)

## 12月 「水彩フェスティバル反省会」

私の仕事は、毎月の会の収支報告書を作成する事。そして、年度末の決算報告書を作成する事。当会での仕事は、その様に少しだけさせていただいています。

但し、年に二度ほど皆さんに喜んで戴いている事がありますので、その事と今後の参加要請も含めまして少し書かせていただきます。

それは、当会の懇親会の話です。当会の中に懇親会の仕入れ担当の方がいらっしゃって上等の品物を格安で仕入れて来ていただけるので、懇親会の料理を私が担当して、手作りで振舞うのです。(もちろん会費はいただきます)やはり、上等の品物ですので会の皆様方に大変好評で、会費のわりには満足して戴いてます。

今後も、許せる限り、出るべき限り頑張ってみますので、皆様も時間があれば是非参加していただき、会の懇親会を計っていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。(松田安則)

## 1月 「江東シネマフェスティバル」

古石場文化センターの行事への協力です。地元深川の小津監督の映画の中に昔の深川の水辺を見つけることもできます。

「おせんにキャラメル」「お弁当」「コーヒー」などの販売をしました。遠くから泊まりがけで参加される方々との会話も楽しみのひとつです。(田中貴子)

## 4月 第8回 「東京を守る堤防体験ツアー」

江東区役所前など区内16か所に過去の大水害の水位を示す標準標があるように、水害の脅威は現在も続いている。私たちの暮らしを守る堤防の草刈りと、利根川上流の方たちとの交流の旅も今回で8回目。カスリーン台風による堤破を記念する公園と桜堤、渡良瀬遊水地、そして小山市生井地区の皆さん心温まる歓迎。かつては多くの船が行き来していた小名木川と利根川水系地域との深い結びつきを体感できる楽しくも意義ある一日でした。(飯田太郎)



「小山市の方々との交流」